

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
1	新型コロナウイルス感染症対策事業 (医療機関体制・環境整備支援事業)	①新型コロナウイルス感染症の予防及び重症化を防ぐために、市民への円滑なワクチン接種など医療体制充実・環境整備を実施する市内医療機関への支援を行う。 ②③新型コロナウイルス感染症対策事業費協力金 ・個別・集団接種でのワクチン接種を実施する医療機関への協力金 ：40医療機関×500,000円=20,000千円 ・マイナンバーカードによるオンライン資格確認の環境整備を実施する医療機関への協力金 ：40医療機関×200,000円=8,000千円 ・オンライン診療・処方・予約・面会等を実施する医療機関への協力金 ：40医療機関×100,000円=4,000千円 【事業費最終見込額：29,000千円】 ④対象：市内医療機関	25,200,000	0	25,000,000	0	200,000	R3.4.1	R4.3.31	◇新型コロナウイルスワクチン接種協力金 個別・集団接種でのワクチン接種を実施する医療機関への協力金 42件 17,900千円 ◇マイナンバーカードによるオンライン資格確認環境整備協力金 マイナンバーカードによるオンライン資格確認の環境整備を実施する医療機関への協力金 34件 6,800千円 ◇オンライン診療等環境整備協力金 オンライン診療・処方・予約・面会等を実施する医療機関への協力金 5件 500千円 合計：81件 25,200千円	市内医療機関へ協力金を交付することにより、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種につながった。また、マイナンバーカードによるオンライン資格確認のための顔認証カードリーダーの導入やオンライン診療など新しい診療体制の構築の一助となった。	健康づくり課
2	記念花苗贈呈事業	①新入学児童・生徒及び園児への記念品として、花苗を贈呈し門出を祝福するとともに、新型コロナの影響で低迷している花苗の消費拡大を図り、花苗農家を支援する。 ②③記念花苗贈呈事業委託料 (対象児童・生徒及び園児：1,500人) ・1,500人分×1,000円=1,500千円 ④対象：1) 新入学児童・生徒及び園児 2) 花苗農家 ※農福連携に取り組む市内福祉施設へ業務委託	1,500,000	0	1,500,000	0	0	R3.4.1	R3.7.9	市内福祉施設2か所へ委託し、ポット苗3個の植え替え及び配送業務(1,500人分)を実施。	農福連携の取組により花苗のプランターを贈呈することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている花苗農家及び福祉施設の支援をすることができた。	農業政策課
3	農業者収入保険加入促進事業	①市内農業者の事業継続を下支えするため、新型コロナや自然災害の影響等による農業収入減を補償する保険制度への加入促進を目的として、その保険料の一部を支援する。 ②③農業者収入保険制度加入促進補助金 ・補助金額：20戸×40,000円(平均)＝800千円 25戸×100,000円(上限)＝2,500千円 ④対象：収入保険制度に加入する市内農業者	2,665,000	0	2,650,000	0	15,000	R3.4.1	R4.3.31	農業経営収入保険保険料の掛け捨て部分の掛金の8割(上限10万円)を補助。 補助対象者：51人 2,665千円	新型コロナウイルス感染症や自然災害の影響等、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少に備えるための農業経営収入保険加入者が増加し、経営基盤の強化が図れた。 R3実績：57人 R2実績：28人 増加率：203%	農業政策課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
4	うれしの茶消費拡大対策事業	①緑茶成分が他ウイルス感染予防にも有効とされるうれしの茶(リーフ茶)を市民(新型コロナワクチン接種者)を対象に配布し、飲用することで新型コロナウイルス感染症等の予防に努めるとともに、消費低迷が懸念される特産品うれしの茶の消費拡大と新型コロナワクチン接種の促進を図る。 ②③うれしの茶消費拡大対策事業委託料 ・22,300人×805.2円=17,956千円 ④対象：市民(新型コロナワクチン接種者) ※佐賀県茶商工業協同組合へ業務委託	17,931,430	0	17,500,000	0	431,430	R3.6.1	R4.3.31	○配布数：うれしのリーフ茶(100g)22,300袋 ○事業費：17,931,430円(委託料) ○業務委託先：佐賀県茶商工業協同組合	新型コロナウイルスワクチン2回目接種者へうれしの茶を配布することにより、新型コロナウイルス感染症予防及びうれしの茶消費拡大・うれしの茶PRを図ることができた。	茶業振興課
5	経済アドバイザー事業	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が停滞しているなか、市内事業者等を対象にコロナ禍における経済活性化や経営継続のための専門家による指導・助言等アドバイザー支援を行う。 ②③経済アドバイザー業務委託料 ・講習会・研修会開催、アドバイザー費用等：一式2,500千円 ※佐賀県よろず支援拠点との連携 ④対象：市内事業者等	2,384,800	0	2,300,000	0	84,800	R3.4.1	R4.3.29	◇専門家による経営セミナーの開催 ・Instagram・SNS技術講習会 24名参加 ・コロナに打ち勝て！これからのビジネスの秘策セミナー 24名参加 ※オンライン形式での開催 ◇各種経済支援策に関する説明会 ・事業を守るために経済支援策説明会 22名参加 ・事業を守るために～事業復活支援金について 43名参加 ※説明会の様子を録画し、ケーブルテレビにて放映 ◇支援策等の活用に対するサポート ・事業復活支援金サポートデスク 51名利用	各種セミナー並びに各種支援策に関する説明会を開催し、コロナ禍における事業の維持・継続につながった。また、事業復活支援金申請については、独自の無料サポートデスクを開設し、多くの事業者の方に利用いただき支援金申請のサポートができた。	観光商工課
6	「うれしカード」利用促進事業	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が停滞しているなか、域内での消費活動の活性化を図るために、市内事業者等が取り組んでいる「うれしカード(ポイントカード)事業」の支援を行う。 ②③「うれしカード」導入促進補助金 ・「うれしカード」を新規に取扱う事業所等への対応機器設置のための補助金 ：60店舗×50,000円=3,000千円 ④対象：市内事業所等	2,969,835	0	2,700,000	0	269,835	R3.7.1	R4.3.31	「うれしカード」新規加盟店 37店舗	「うれしカード」を活用したことにより市内での消費活動の活性化に寄与することができ、市内事業者へ直接的な経済効果を生み出すことができた。	観光商工課
7	嬉野温泉商店街ウェルカムキャンペーン支援事業	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が停滞しているなか、域内での消費活動の活性化を図るために、嬉野温泉商店街が取り組む「ウェルカムキャンペーン事業」の支援を行う。 ②③嬉野温泉商店街ウェルカムキャンペーン支援事業費補助金 ・ウェルカムキャンペーンノベルティ他：1,500千円 ・まち遊び人生ゲーム企画：1,500千円 【事業費最終見込額：1,400千円】 ④嬉野温泉商店街協同組合	1,291,000	0	1,000,000	0	291,000	R3.4.1	R4.3.1	◇まちあそび人生ゲームwith嬉高生 嬉野温泉商店街を中心に、店舗やブースをマス目とし、体験型リアル人生ゲームを実施。嬉野高校生にも企画段階から参加してもらい、運営や支援スタッフとして携わってもらった。参加者を佐賀県内在住者のみとし、「Cocoa」アプリをインストールすることを条件とし、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施。 参加者数：130チーム(約500人) ◇うれしの温泉商店街ウェルカムキャンペーン 自店の商品等を景品とし、スピードくじを実施。	コロナ禍のため、商店街においては約2年ぶりのイベントとなり市内外からの誘客・消費を促すことができ、経済活性化を図ることができた。	観光商工課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
8	消費経済システム構築支援事業	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が停滞しているなか、域内での消費活動の活性化を図るために、消費経済システムを構築する事業を支援する。 ②③消費経済システム構築支援事業費補助金 ・市内事業所等で在庫過多となった農産物、食品・食材等の流通販売システム構築事業への補助：一式10,000千円【事業費最終見込額：5,500千円】 ④嬉野市商工会	5,200,000	0	4,500,000	0	700,000	R3.4.1	R4.3.31	◇嬉野西洋野菜プロジェクト ・嬉野西洋野菜研究会によるブランディング確立に向けた研修会 ・嬉野西洋野菜のロゴマークの制作 ・調理方法についての検討 ・ピーツの成分分析 ・イベント販売やECサイト販売によるマーケティング ◇未利用資源の掘り起こし ・「食」に関する未利用資源活用への検討 ・「水力」に関する未利用資源活用への検討 ・「森林」に関する未利用資源活用への検討	農産物等の地場産品のブランディングに向け、西洋野菜についての成分分析等を行い、効能を発信することで今後の販売システム確立へ向けた取組とすることができた。また、未利用資源の掘り起こし等を行い、販売・実用に向けた調査・検討を行うことができた。	観光商工課
9	宿泊施設等利用促進キャンペーン事業	①コロナ禍で低迷している域内観光関連の需要喚起のため、感染拡大防止策を講じながら、市内宿泊施設利用補助及び市内店舗で利用可能なクーポン券発行を行う。 ②③・宿泊補助：市内施設宿泊費用の50%（上限：5,000円）を補助 ：5,000人×5,000円＝25,000千円 ・クーポン発行：上記対象者に対し市内飲食店等で利用可能クーポン2,000円分を発行 ：5,000円×2,000円＝10,000千円 ・業務委託事務費用（2事業）：計3,000千円 ④対象：条件を満たす市内宿泊施設利用者 ※嬉野市商工会等へ業務委託	0	0	0	0	-	-	※事業未実施	-	観光商工課	
10	DESTINATIONキャンペーン事業	①コロナ禍で低迷している域内観光産業の需要喚起のため、九州新幹線西九州ルート開通に合わせ、JRグループ等の民間企業及び新幹線沿線自治体と連携し、効果的な観光PR事業を実施する。 ②③DESTINATIONキャンペーン事業負担金 ：一式 4,000千円 【事業費最終見込額：2,900千円】 ④JR九州株式会社	2,428,640	0	1,900,000	0	528,640	R3.4.1	R4.3.31	◇DESTINATIONキャンペーン事業 ・関西地区の各種媒体を活用した情報発信 ・嬉野市観光素材集作成 ・DESTINATIONキャンペーン事業負担金	コロナ禍において低迷している域内観光産業の需要喚起のため、西九州新幹線開業に向け、関西地区における情報発信を行いPRすることができた。また、開業後の継続的な発展を図るため、JRグループとの連携強化が図れた。	観光商工課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
11	緊急経済対策事業 (うれしカード キャンペーン)	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が停滞しているなか、市内事業者等が取り組んでいる「うれしカード(ポイントカード)事業」を活用し、域内での消費活動の促進を図る支援を行う。 ②③「うれしカード」ポイント付与 ・市内加盟店で利用可能な「うれしカード」 5,000pt(5千円相当)付与経費:21,638人(18歳以上の市民)×5,030円/人≒108,840千円 スタンプラリー企画(3店舗以上利用時特典) ・複数店舗での利用促進のためのスタンプラリー実施経費:2,087千円 その他必要経費 ・カード作成費、PR費、事務費等:4,088千円 【事業費最終見込額:97,000千円】 ④対象:市民(18歳以上) ※嬉野市商工会へ事業補助	96,255,165	0	91,519,000	0	4,736,165	R3.7.1	R4.3.31	◇ポイント交付事業 ・交付実績:17,471名 87,355千円 ◇スタンプラリー事業 ・3店舗のスタンプを集め、専用はがきで応募 応募総数:約3,000通	「うれしカード」を活用したことにより市内での消費活動の活性化に寄与することができ、市内事業者へ直接的な経済効果を生み出すことができた。	観光商工課
12	学校保健特別対策 事業費補助金(小 学校)	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童の学習保障をするための取組みを迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する。 ②③保健衛生対策費用(物品購入): ・アルコール消毒液・ハンドソープ等: 8校×240,000円=1,920千円 ・マスク・使い捨て手袋等: 8校×50,000円=400千円 ・その他保健衛生用品:1,680千円 換気対策費用(物品購入): ・壁掛扇風機等: 8校×100,000円=800千円 ・その他換気対策用品:700千円 特別活動時の3密対策バス借上げ費用: (7校)1,300千円 ④市内各小学校	6,374,961	3,188,000	3,000,000	0	186,961	R3.6.22	R4.3.31	◇五町田小学校 ・アルコール消毒液(17ℓ) 6個 ・壁掛け扇風機 14台 ほか ◇久間小学校 ・アルコール消毒液(17ℓ) 4個 ・除菌クロス 6セット ほか ◇塩田小学校 ・パルスオキシメーター 2台 ・タオルペーパー 35セット ほか ◇嬉野小学校 ・電子体温計 5台 ・ハンドソープ5kg 4個 ほか ◇轟小学校 ・スタンド付きディスペンサー 6台 ・ビッグファン 3台 ほか ◇大野原小学校 ・非接触型体温計 6台 ・使い捨てゴム手袋100枚 7セット ほか ◇吉田小学校 ・教室フロア扇風機 2台 ・フェイスシールド 20個 ほか ◇大草野小学校 ・ウィンドウエアコン 1台 ・ビッグファン 2台 ほか	新型コロナウイルス感染症対策のための必要な物品の購入等により、換気対策や感染症対策を徹底し、児童生徒の学校教育活動を継続することができた。	教育総務課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
13	学校保健特別対策事業費補助金(中学校)	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら、生徒の学習保障をするための取組みを迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する。 ②③保健衛生対策費用(物品購入): ・アルコール消毒液・ハンドソープ等: 4校×240,000円=960千円 ・マスク・使い捨て手袋等: 4校×50,000円=200千円 ・その他保健衛生用品:840千円 換気対策費用(物品購入): ・壁掛扇風機等: 4校×100,000円=400千円 ・その他換気対策用品:300千円 特別活動時の3密対策バス借上げ費用: (3校)900千円 ④市内各中学校	3,271,563	1,635,000	1,600,000	0	36,563	R3.6.22	R4.3.31	◇塩田中学校 ・リモート会議用Webカメラ 2台 ・パーティションパネル 40台 ほか ◇嬉野中学校 ・非接触型体温計 6台 ・Webカメラ 6台 ほか ◇大野原中学校 ・空気清浄機 1台 ・タオルパーパー200枚 2セット ほか ◇吉田中学校 ・換気用扇風機 4台 ・ハンドソープ5kg 5セット ほか	新型コロナウイルス感染症対策のための必要な物品の購入等により、換気対策や感染症対策を徹底し、児童生徒の学校教育活動を継続することができた。	教育総務課
14	空調設備設置事業(吉田小学校)	①市立学校における新型コロナウイルス感染症及び熱中症予防のため、学校施設の空調設備設置など換気対策の環境整備を行う。 ②③空調設備設置費用 ・空調設備設置工事(吉小1F:多目的室):6,000千円 ・設計監理業務:700千円 ④吉田小学校	4,719,550	0	4,700,000	0	19,550	R3.6.22	R4.3.31	空冷ヒートポンプパッケージエアコン(ビル用マルチエアコン) 室外機 冷房能力28.0kw 暖房能力31.5kw 室内機 天吊形(4台) 冷房能力7.1kw 暖房能力8.5kw	多目的室に空調設備を新設することで、年間を通して分散授業や少人数授業、研修会等に活用可能となり、新型コロナウイルス感染症対策の向上が図られた。	教育総務課
15	空調設備設置事業(嬉野中学校)	①市立学校における新型コロナウイルス感染症及び熱中症予防のため、学校施設の空調設備設置など換気対策の環境整備を行う。 ②③空調設備設置費用 ・空調設備設置工事(嬉中2F:多目的室):2,500千円 ・設計監理業務:500千円 ④嬉野中学校	3,321,450	0	2,700,000	0	621,450	R3.6.22	R4.3.31	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 天吊形 冷暖同時トリプル 冷房能力20.0kw 暖房能力22.4kw	多目的室に空調設備を新設することで、年間を通して分散授業や少人数授業、研修会等に活用可能となり、新型コロナウイルス感染症対策の向上が図られた。	教育総務課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
16	茶含み飲み普及啓発・消費促進対策事業	①緑茶の「含み飲み」が新型コロナウイルス飛沫感染予防に効果的であるとの有識者の研究結果(公式発表)を受け、茶含み飲み普及啓発事業を展開するとともに、併せてコロナ禍で経済活動が低迷している域内産業(うれしの茶・肥前吉田焼)のRRRと消費拡大を図る。 ②③フォーラム開催費用 ・登壇者謝金及び費用弁償(講演者・パネラー等10名×2回):1,063千円 ・会場使用料及び開催周知費用:456.5千円 含み飲み茶製造費用 ・805円×10,100個=8,130.5千円 含み飲み茶用湯呑製造費用 ・2,000円×500個=1,000千円 ④対象:市民等	9,640,000	0	5,300,000	0	4,340,000	#####	R4.3.31	◇お茶で健康フォーラム事業 ・お茶で健康フォーラム ・お茶で健康宣言、ふくみ飲み・淹れ方講座 ◇ふくみ茶製造業務 ・配布数:ティーバック10,000袋(30個/袋) ◇ふくみ茶推奨要茶器(湯呑)購入業務 ・500個	新型コロナウイルス飛沫感染予防として、お茶のふくみ飲みを推奨することで、うれしの茶のPR及び感染対策の向上を図ることができた。	茶業振興課
17	非接触型自動水栓等設置事業(小学校)	①市立学校における新型コロナウイルス感染症軽減及びクラスター対策のため、各学校の既設手回し水道蛇口を非接触型の自動水栓等へ改修する。 ②③非接触型自動水栓等設置費用 ・非接触型自動水栓等設置工事一式:【8校(計602箇所)分】12,296千円 ④市立小学校(8校)	12,060,400	0	7,750,000	0	4,310,400	R3.9.21	R4.3.31	◇五町田小学校 74箇所 ◇五町田小学校谷所分校 6箇所 ◇久間小学校 88箇所 ◇塩田小学校 98箇所 ◇嬉野小学校 150箇所 ◇轟小学校 54箇所 ◇吉田小学校 45箇所 ◇大草野小学校 74箇所 合計 589箇所	感染リスクが高いと考えられる場所を優先して非接触型自動水栓タイプやレバーハンドルタイプを設置したことにより、感染リスクの低減につながった。	教育総務課
18	非接触型自動水栓等設置事業(中学校)	①市立学校における新型コロナウイルス感染症軽減及びクラスター対策のため、各学校の既設手回し水道蛇口を非接触型の自動水栓等へ改修する。 ②③非接触型自動水栓等設置費用 ・非接触型自動水栓等設置工事一式:【4校(計179箇所)分】6,382千円 ④市立中学校(4校)	6,337,100	0	4,000,000	0	2,337,100	R3.9.21	R4.3.31	◇塩田中学校 52箇所 ◇嬉野中学校 66箇所 ◇大野原中学校 27箇所 ◇吉田中学校 43箇所 合計 188箇所	感染リスクが高いと考えられる場所を優先して非接触型自動水栓タイプやレバーハンドルタイプを設置したことにより、感染リスクの低減につながった。	教育総務課
19	修学旅行中止及び変更に伴う学校支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定していた修学旅行の中止及び縮小等の行程変更に伴い生じたキャンセル料等の必要経費について本交付金を充当する。 ②③中学校修学旅行キャンセル料等必要経費: ・【吉田中(中止)】135千円 ④吉田中学校	0	0	0	0	0	-	-	※事業未実施	-	教育総務課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
20	嬉野市緊急支援事業(嬉野サポート事業)	①新型コロナウイルス感染症により経済活動が低迷しているなか、厳しい事業運営を強いられている市内事業者を対象に、今後の経営継続及び域内の経済活性化のための事業支援(経営環境整備・販売促進等)を行う。 ②③嬉野サポート事業(経営継続及び域内の経済活性化のための事業費補助) ・補助額:300千円(上限)×100事業所=30,000千円 ・事務経費(郵送、振込、事務手数料等):500千円 ④対象:市内で営業する事業者 ※嬉野市商工会への一括補助(事業取りまとめ)を想定	27,800,000	0	27,269,000	0	531,000	R3.11.4	R4.3.31	◇誘客・イベント事業 販売戦略・販路拡大事業 高品質化・高付加価値化事業等 ◇実施事業者内訳 ・卸売・小売・飲食業 47件 ・サービス業 24件 ・製造業 15件 ・その他 2件 合計 88件 ◇実施事業項目内訳 ・宣伝広告 26件 ・システム設計 25件 ・販売戦略・販路拡大 23件 ・委託 8件 ・研修、その他 6件 合計 88件	事業者が創意工夫を凝らし、自発的な取組を行ったことにより、新たな顧客の獲得、販路拡大等に繋がり、コロナ終息後の反転攻勢を見据えた取組の一助となった。	観光商工課
21	し尿汲取り手数料キャッシュレス決済導入事業	①市役所窓口等での新型コロナ感染拡大防止及び非接触による行政サービス向上を図るため、し尿汲取り手数料のキャッシュレス決済を導入する。 ②③し尿汲取り手数料キャッシュレス決済導入費用 ・システム改修費用:330千円 ④嬉野市	330,000	0	55,000	0	275,000	R3.11.4	R4.3.1	◇し尿収集管理システム改修 一式	し尿汲取り手数料キャッシュレス決済導入により、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び行政サービス向上を図ることができた。	環境下水道課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
22	緊急支援事業(休業等協力金)	①市内飲食店でのクラスター発生を受け、夜間営業の飲食店等の人流を抑制し感染拡大のリスクを軽減するため、市独自の休業・時短営業要請に応じた店舗等に対し、休業等協力金を支給する。 ②③・休業等協力金： 【対象】休業・時短営業した飲食店等(当初期間：1/15～23・追加期間：1/24～26予定) 【支給額】(当初期間分)10万円、(追加期間分)3万円 [100+30]千円×150店舗=19,500千円 ・家賃支援金： 【対象】休業・時短営業した飲食店等(貸店舗営業の事業者のみ) 【支給額】5万円(上限) 50千円×70店舗=3,500千円 事務費：2,000千円 ④市独自の要請により休業・時短営業した飲食店等 ※嬉野市商工会へ業務委託	23,140,182	0	22,500,000	0	640,182	R4.1.14	R4.3.29	◇当初期間 令和4年1月15日(土)～1月23日(日)9日間 ◇延長期間 令和4年1月24日(月)～1月26日(水)3日間 ◇休業等協力金(当初) 144件 ◇家賃支援金 82件 ◇休業等協力金(延長) 142件	多くの事業者の休業・時間短縮営業への協力により、市内での人流抑制ができ、新型コロナウイルス感染拡大の軽減につながった。	観光商工課
23	子どもインフルエンザワクチン接種費用軽減事業	①季節性インフルエンザの流行はコロナ診断との区別や診療に与える影響が大きいことから、新型コロナウイルス感染症との診断のすみ分けと適切な医療を受けられるよう、既存の子どもインフルエンザ予防接種費用助成を拡充し実施する。 ②③子どもインフルエンザワクチン接種費用 ・拡充助成分(1回：1千円から2千円の助成へ拡充)： 接種者2,750人×2千円-(既存助成分)2,750千円=2,750千円 ④対象：15歳(中学3年生)までの子ども	2,065,000	0	1,000,000	0	1,065,000	R3.4.1	R4.3.31	◇接種者数 ・1回接種 1,316人 ・2回接種 749人 合計2,065人	新型コロナウイルス感染拡大において、子どものインフルエンザ予防を推進することで、医療逼迫の軽減、また、重症化予防にもつながった。	健康づくり課
24	就業支援事業	①コロナ禍における本市基幹産業である観光業等の低迷で、市内の雇用状況も不安定となっている中、本市及び近隣市町の求職者と雇用事業所とのマッチング等の就業対策支援を行う。(近隣の武雄市との合同事業) ②③就業対策支援事業費補助金 ・補助金額：6,000千円(嬉野市負担分) ④対象：市内求職者と雇用事業所 ※嬉野市商工会への補助	6,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	R3.4.1	R4.3.31	◇求職者を対象とした「よかワーク」登録会並びに相談会の実施 ・来場者計84名 ◇企業側への「よかワーク」登録促進 ・登録企業数 90社 ・求人件数 535件 ◇「よかワーク」マッチング ・マッチング実績 168件	コロナ禍により働く機会が減少する中、武雄市との連携により広域でのマッチング事業を実施したことでリモートワーク等の多様な働き方を創出し、また感染拡大の低減にもつながった。	観光商工課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業の実施状況及び効果検証

No	事業名	事業の概要(実施計画時点) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	事業担当課	
			国庫補助額	交付金充当額	起債額	その他						
25	教育支援体制整備 事業費補助金	(スクール・サポート・スタッフ配置事業) ①市立学校における感染症対策の強化を図るため、各学校にスクールサポートスタッフを配置し教師の業務をサポートする。 ②③スクール・サポート・スタッフ(11人)配置費用;計10,220千円 ・報酬:204日×4H/日×897円/H×11人≒8,052千円 ・期末手当:20日×4H/日×897円/H×2.55×11人≒2,013千円 ・雇用保険料:1,000千円×11/1,000×11人≒122千円 ・労災保険料1,000千円×3/1,000×11人≒33千円 【事業費最終見込額:9,419千円】 ※Fその他は佐賀県スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金(補助率2/5) 交付対象経費(雇用及び労災保険料:155千円は対象外):9,264千円×2/5≒3,706千円 ④各市立小中学校(11校)	9,780,885	1,876,000	2,000,000	0	5,904,885	R3.4.1	R4.3.31	◇スクールサポートスタッフ 11人 ・子どもの健康観察のとりまとめ、検温等健康に関する作業の補助 ・教室の配膳補助(小学校低学年) ・各教室の換気や消毒など感染症対策の補助 ・各種文書の印刷、配布	各教室の消毒・環境整備や教師の業務をサポートすることで、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることができた。また、教員が児童生徒への指導や教材研究等のための時間確保にも繋がった。	学校教育課
合計			272,666,961	6,699,000	235,443,000	0	30,524,961					